

しゅどう
中野十一中
手袋
同窓会新聞
第25号
 2013年4月
 発行
 中野区立
 第十一中学校
 同窓会幹事会

緑野中創造

緑野中学校長 牧井 直文

今年の三月末日をもって緑野中学校が開校して五周年となります。これまでの間、旧第六中学校と旧第十一中学校の伝統を受け継ぎつつ、緑野中学校としての新たな歴史を刻んできました。

今、そうした学校づくりの成果が少しずつ実ってきています。二大行事である「体育祭」や「学芸発表会（合唱コンクール）」の取り組みもその一つです。目標に向かって共に創り上げようとする団結力の強さは本校の特色の一つであり、緑野中の伝統となりつつあります。部活動も大変に盛んで、運動部と文化部を合わせ十四の部がそれぞれの目標を目指して活発に活動しています。また、地域でのボランティアにも積極的に参加する雰囲気があります。このような緑野中学校の良き校風を一層磨き上げ、

「緑野中魂」とでも言えるような学校精神を生徒たちの活動をとおして創りあげていきたいと考えています。

緑野中学校の前身である第六中学校・第十一中学校の時代から、地域の方々に様々な協力をいただきながら学校運営や教育活動の取り組みが進められてきたと聞いております。これからも緑野中学校が地域の学校として愛され、発展し、皆様の期待に応えられる充実した教育が展開できますよう、第六中学校・第十一中学校の同窓生の皆様を始め、多くの地域の皆様に学校や生徒たちの応援団として力強く支えていただきたいと願っています。教職員一同、頑張る所存ですのでどうぞよろしくお願いたします。



第五回卒業式
 (三月十九日)



同窓生訪問

映画プロデューサー・監督

増田久雄氏

(四期生)



● 中学時代の一番の思い出は？

もう50年以上昔のことです。今となると総てが懐かしい思い出ですが、まだ原っぱや雑木林が周囲に残る環境で過ごしたことです。それから一年生の時に担任だった「おやじ」とニックネームを付けた鈴木敏先生と「三年になったら京都市まで東海道五十三次を歩こう」と一年生の時に一日がかりで

滝山城址まで、二年生の夏休みに一週間かけて先生の故郷長野県諏訪市まで歩いたこと。三年生になると受験を控えて皆それどころではなくなり東海道五十三次は実現しなかつたのが残念ですが、学内行事では、やはり京都、奈良の修学旅行かな。

● 得意科目は、不得意科目は？

手先が不器用なので、職業家庭と図工が嫌いだった、でも成績は総じてまあまあだったと思います。

● 今の中学生と、50年前中学生の違いは？

私の娘、息子も家庭を持つ年齢で、今の中学生の実体がよく分らない。

● 映画業界に入った動機は？

早大高等学院でヨット部に在籍時、『太平洋ひとりぼっち』という冒険家・堀江謙一さんが小型ヨットで太平洋横断したドラマを映画化している石原裕次郎さんと出逢って、最初は映画業界に入るなんて思っていなかった。人生ってそんなもんですね。間もなく、六月に電子書籍化される私の著書『太平洋の果実』にその経緯が書かれています。



旧区立第十一中学校

同窓会会長

大内慎吾

昭和32年に中野区で11番目の中学校として誕生した中野区立第十一中学校は、平成20年に50年の長い歴史を閉じるまで、約9千人の卒業生を輩出しました。

私もその卒業生のひとりとして、同窓会の会長を務めさせていただいております。

中学生時代に巡り合ったかけがえのない友人、先輩や後輩たちとは、現在も大切にお付き合いが続いており、十一中で学べたことを誇りに思うとともに、幸せであったと感謝しております。

同窓会の目的である母校（現在は「中野区立緑野中学校」）の発展に寄与するとともに、何よりも会員相互に和やかに楽しく活動していきたいと考えております。

会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

平成20年4月に第六中学校と統合し、統合新校「緑野中学校」となり現在に至っております。

現在の生徒数は349名（平成25年度当初）、これまで卒業生は539名となっております。建物と敷地は旧第十一中の位置にあり、校舎は再度補強し使用しています。

平成25年4月1日

● 休日の過ごし方は？趣味は？

「ああいう映画作りたいなあ」「こういう舞台をやりたいなあ」「あれを書いてみたいなあ」とかをぼんやり考えている。趣味も同じ。

● 今後の予定は？

11月に、恒例になった映画音楽コンサート『スクリーンミュージックの宴PART4』を開催。これには十一中の同期の連中が毎

増田久雄氏

中野十一中四期生

(1962年卒業)

略歴

早大高等学院を経て早稲田大学政治経済学部卒業。大学在学中に一年間休学し移民船・ぶらじる丸で渡米、世界放浪の一人旅をする。卒業後、石原プロモーションで映画の企画・製作に携わる。その後独立し、映画のみならず、TV、舞台、著作活動と幅広く活躍。

映画：『チ・ン・ピ・ラ』『高校教師』『フチオの時間』『EYAZAWA ROCK』等40作品余。

著書：『太平洋の果実』『石原裕次郎のもと』『テイドリーム・ビリーバー』『団塊、再起動。』他。

年駆けつけてくれます。12月には池袋の芸術劇場でミュージカル舞台をやります。映画製作は少し休憩です。

● 好きな人物とその理由は？

有名、無名を問わず、自分に嘘をつかずに、一生懸命生きている人。

● 今の若者に一言？

一度しか無い人生だから、自分の思うように生きろ！ということ。但し、社会のルールは守り、親、家族、友人は勿論、周囲の人を思いやる気持ちだけは忘れずに。そして、沢山失敗して、沢山後悔して……青春って、後年考えると、沢山の忘れ物や落とし物をしているものなんです。

第十一中学校同窓会総会
第六・十一中学校懇親会

平成25年5月18日(土)

総会	午後2時30分～3時
懇親会	午後3時～4時30分
場所	緑野中学校 地下体育館
会費	500円 (20歳未満は無料)

同窓会ホームページアドレス
<http://n11jhs.net/>

先生お元気ですか？

PART1

■小林英男先生(理科S32～37)

私は十一中創立の昭和三十二年四月から三八年三月まで六年間、理科を担当しました。それ以来五十年も経過し、八三歳にもなりましたが、当時のことはよく思い出しています。なぜなら一期生の同期会、当時の同僚の先生方の会が毎年あるからです。また、同窓会にも出かけております。おかげさまでこの年なりの健康を保っています。これからも十一中(新・緑野中)の発展を見守りたいと願っています。

■小坪進先生(保体S39～50)

1964～76年の十二年間つとめました。十一中を去って三七年になり、八二歳です。昨年は同期会と水泳部OB・OG会に出席しました。このような会が永く続いて卒業生と会えることは本当にうれしい。生徒達の三年間の体験が貴重であり充実していたことだと思う。生徒同志仲良く、よい人間関係がいろいろな面で成果をあげている。私はすばらしい生徒と一緒に勉強できたことに深く感謝している。雨の日もサッカーのゲームを元氣よくやったことなど思い出す。

先生お元気ですか？

PART2

■河野(旧姓佐川)淳子先生

(英語S32〜35)

私は十一中のスタートの日から英語担任となり、色々楽しい経験をしました。制服は無しという願いを小滝校長に採用され喜び、授業中は日本語無しで手真似で教えたりしましたが、それが噂になり寄留入学者が増え、彼、彼女もそうだと十年後の同期会で知り驚きました。私は今、八十二歳でソシアルダンス、アクアダンス、ピアノ、ヴァイオリン、と忙しく遊んでいます。又、老人英会話のボランティアも時々やって喜ばれています。孫は五人で上は成人式も終わり下は小学五年生です。

■矢島祐治先生(理科S32〜41)

教職を退職して今年でちょうど二十年になり、今寿を迎えます。退職後は自由な時間を利用して海外旅行に出かけ、二十数年国を見てきました。最近では健康維持のため毎日ウォーキングを一時間位やっています。また食事も野菜中心のものにし、お酒の量も少なくなりました。十五年ほど前から練馬で退職教職員の会の事務局を引き受け、会の活動に参加しています。

■吉田セイ子先生(音楽S43〜49)

皆様、お元気でお過ごしですか。このお便りを書くにあたり、数十年前の会員名簿を開き、懐かしさが胸にあふれました。当時はふがいない教師で申し訳なく、同僚の方々には、色々助けて頂き、有難うございました。以前は、大変な年齢に思えた八十台に私も突入しましたがフルート、水泳、歌など楽しみつつ、元気に暮らしております。孫、内外合せて四人(全員男子) 大一、高三、高一、中一、順調に成長しております。十一中の発展と皆様の御多幸を心からお祈りしつつ。

■佐藤允彦先生(英語S36〜39)

今年の秋に喜寿を迎えます。十一中にはたった四年間しか在籍しませんでした。私にとつて教員スタートの学校であり、忘れ難い思い出がたくさんあります。現在は山仲間と近郊の山に登ったり、旅行に出かけたりして楽しんでいきます。平素は読書、書道、家庭菜園、パソコンなど、暇にまかせて何でも手掛けています。七期生しか交流はありませんが、これからも大切にしていきたいと思えます。

■井手上末生先生(技術S36〜42)

一昨年の八月まで、NGO「SIESEF」のカンボジア教育支援で、国立プノンペン

師範学校に行っていました。現在は老人クラブに入会して、地域の手伝いなどをしております。明日(一月二三日)から寒い日本を脱出して暖かいマレーシアのペナン島で五十日くらいノンビリと夫婦で過ごしてこようと思っています。

■齋田豊先生(教頭S62〜H元)

同窓会の活動を続けてくださり、ホームページも立ち上げられ嬉しく存じております。

私は、パソコン、畑、カメラ、自治体行事への参加などで、毎日、慌ただしく過ごしております。

いつの間にか、喜寿から一年半が過ぎ、海外旅行がきつくなつて参りましたが、八十歳までに、何とか、ハワイとフランスへ行きたいと思っております。

ただ、悩みの種はそのために必要な体力維持向上のトレーニングをつい、怠りがちなことです。

編集後記

・先生方の近況は他にもお便りを頂いています。紙面の都合上、掲載できません。他のお便り、会計報告書役員名簿、現在の学校の様子などはホームページをご覧ください。

・広報紙の記事や、編集作業に協力頂ける方は幹事会まで連絡下さい。